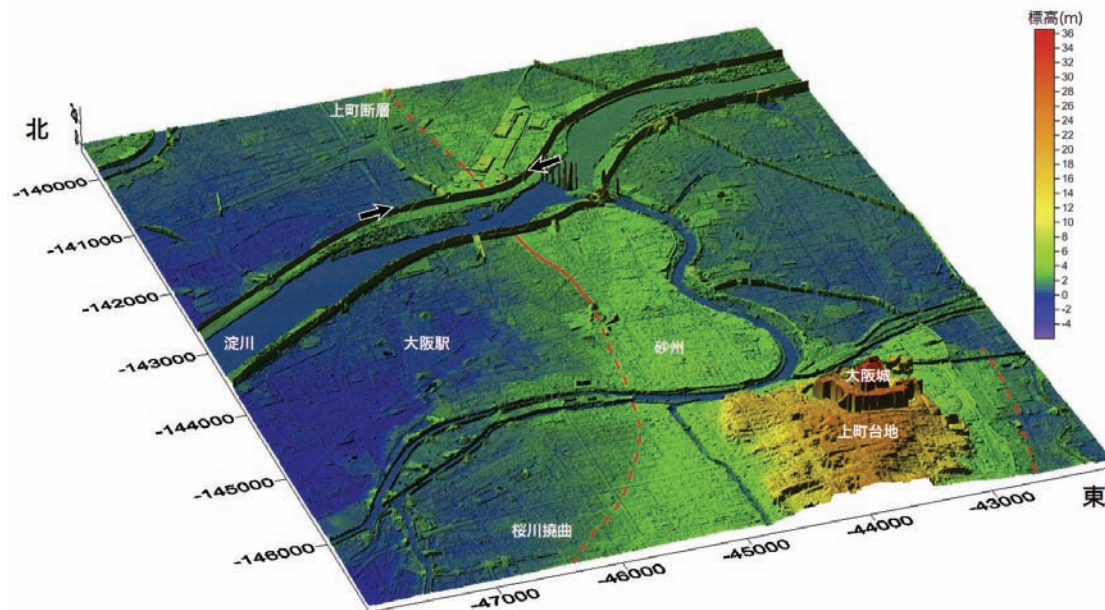
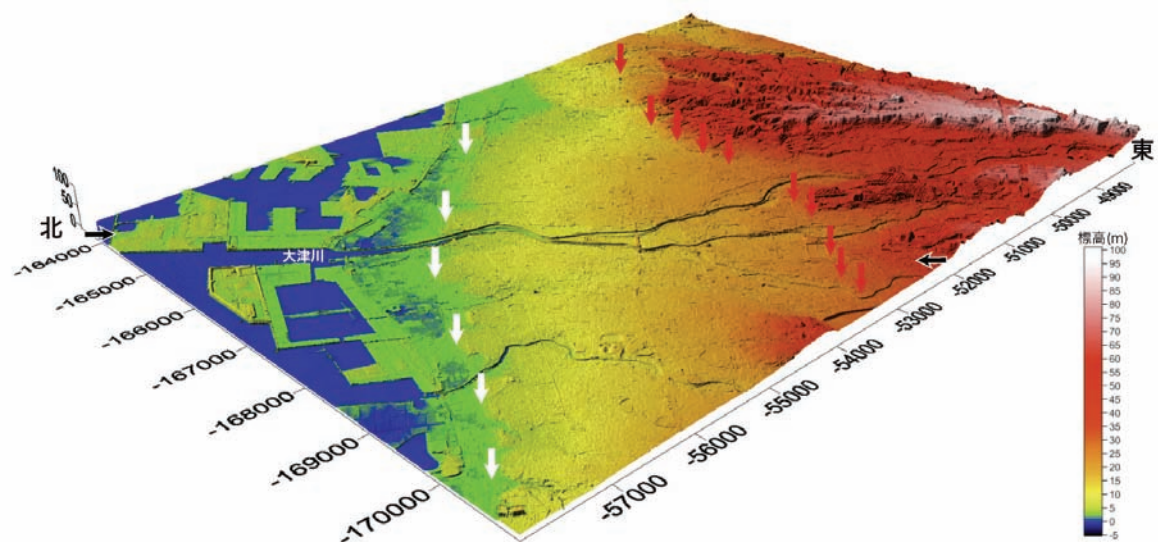


1 活断層の活動区間を正確に把握するための詳細位置・形状等の調査



詳細 DEM を用いた上町断層帯の分布位置、変動地形の再検討（大阪駅周辺域）

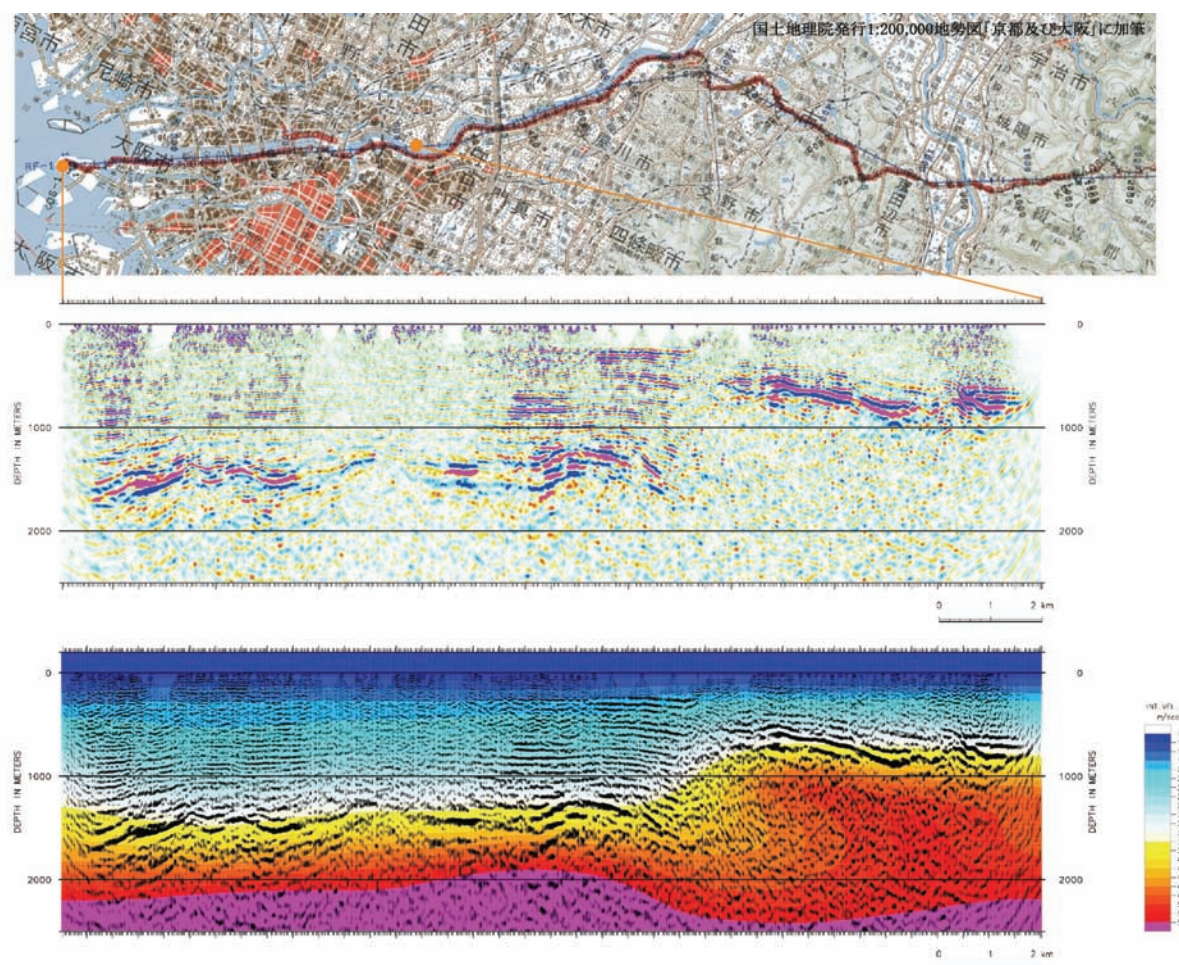
赤線が活断層、赤破線が活断層（位置不明瞭）を示す。黒矢印は杉山ほか（2001，2003）による反射法地震探査測線。従来、建築物が密集し現地形の把握が困難であったが、DEM を利用した検討によって砂州の分布が明瞭になった。今後、上町断層帯の隆起イベントと砂州の関係を検討していく。



詳細 DEM を用いた上町断層帯の分布位置、変動地形の再検討（大津川周辺域）

白矢印が従来の活断層、白矢印が推定活断層、黒矢印がサブテーマ2による平成22年度反射法地震探査大津川測線を示す。大津川等が形成する河成段丘面（黄色～橙色の部分）には、海食崖付近に山側への逆傾斜およびバルジ状の変形が認められ、現在の海岸線付近に沿って逆断層が延びることが明らかとなった。これは、大津川測線の反射法地震探査結果と調和的である。

2 断層帯の三次元的形状・断層帯周辺の地殻構造解明のための調査観測



既存長測線の再解析による大阪堆積層・地震基盤上部の速度構造

大大特大阪－鈴鹿測線の大阪地域の（上）測線、（中）重合前深度マイグレーション結果、（下）屈折トモグラフィによる速度分布。上町断層に対応する部分における撓曲構造や速度不均質が検出されている。



反射法地震探査 大津川測線（大阪府泉大津市—忠岡町—岸和田市）



大津川河川敷における中型バイブレータによる発震の様子

3 断層活動履歴や平均変位速度の解明のための調査観測



大阪市元町中公園（大阪市浪速区元町一丁目6番）におけるボーリング調査



元町中公園におけるボーリング調査の検尺状況



元町中公園におけるボーリング調査のコア例（深度 116-120m、粘性土の部分）

4 断層帯周辺の強震動予測の高度化のための研究



連続微動観測装置の設置（松原市）



微動アレイ観測風景（堺市南区富蔵）